

東京都立東村山高等学校 学校便り

他者のために 一歩先の自分へ



# 若鳩だより

愛と創造

令和5年5月10日 第1号 発行:東京都立東村山高等学校 東京都東村山市恩多町 4-26-1

## 第56回 入学式 4月7日(金)

満場の拍手に迎えられ、198名が晴れやかに入場



令和5年4月7日、東京都立東村山高等学校第56回入学式を行いました。暖かい陽射しの中、葉桜が揺れるこの頃、本校体育館には新入生198名の晴れやかな笑顔があふれました。緊張した面持ちで入場が始まると、会場は列席者からの拍手で包まれました。担任から一人ひとり呼名され、起立する新入生たち。いよいよ高校生活の始まりです。これから3年間、様々な経験を積み上げ、個々の能力を最大限に発揮していくことを期待しています。式典は、開式の辞、国歌斉唱、入学許可、学校長式辞、東京都教育委員会挨拶、来賓紹介、祝電披露、新入生宣誓と続き、式後には校歌の紹介、職員の紹介がありました。式に列席して頂いた保護者の皆様、教員一同だけではなく、地域の方々など多くの人たちが、新入生に期待をし、温かく見守っています。入学式での新鮮な思いを胸に、充実した高校生活を送って欲しいと思います。退場の後は、体育館前に集合し、クラス毎の記念撮影が行われました。

## 新入生歓迎会 4月10日(月)

体育館で本校の活動内容を紹介



入学式の翌週、体育館にて新入生歓迎会が行われました。企画進行は生徒会が担当。各部の活動内容を紹介したパンフレットを制作し、配布をしました。多くの新入生に入部してもらったため、各部の上級生が日頃の活動をアピール。映像や実演も交えて、楽しく内容を説明しました。体育館の後方スペースでは、運動部の実技も公開されました。本校1学年は部活動全員参加です。翌日の体験入部では、実際に体験をして、入部への参考としました。

## 授業公開 4月22日(土)



今年度第一回目の授業公開を行いました。1学年のABC帯を含め、1時間目から4時間目までの全ての授業を公開しました。昨年度はコロナウイルス感染拡大予防の観点から、参加者や公開時間、公開方法などに一定の制限を設けての授業公開でした。今年度は感染予防対策をしたうえで、本校保護者に加えて中学3年生とその保護者、中学校の先生方まで対象を広げて公開しました。その結果、保護者の来校は昨年度に比べて約1.5倍に増え、中学3年生は保護者を含めて17組38名の来校がありました。中学3年生からは、在校生の授業への取り組みや、校舎を含めた学習環境などを知り、「この学校に来たいと思った」という感想や、次は部活動を見学させてもらいたいなどの要望がありました。

## 生徒総会を実施 4月26日(水)



本年度の生徒総会が体育館にて行われました。まず生徒会の役員を紹介した後、議長団が選出されました。そして昨年度の決算と会計監査が報告されました。続いて生徒会執行部、各委員会の代表が、今後の計画や抱負を発表しました。会場では議事の詳細が書かれた冊子も配られ、立ち会った生徒たちにも真剣に内容を確認する姿勢が伺えました。最後に本年度の予算案が公表され、参加した生徒の拍手をもって可決承認されました。

## 部活動ニュース

快挙!

### 【バドミントン部】関東大会への出場権獲得!!

4月29日(土)駒澤オリンピック屋内球技場にて、春季大会兼関東大会東京都予選会(団体)が行われました。女子は本校史上初、予選トーナメントで優勝し東京都ベスト16に進出することができました。男子は決勝トーナメントで明星高校、目黒日本大学高校に勝利し東京都4位となり、上位5校に与えられる関東大会出場権を獲得できました。9年ぶりの関東大会出場となります。今大会よりコロナ禍で禁止されていた応援も解禁され、会場には多くの保護者の方が来場してくださいました。ありがとうございました。

関東大会は6月2日(金)~4日(日)山梨県で行われます。大会で最大限の力を発揮できるよう、残りの1カ月準備していきたいと思えます。



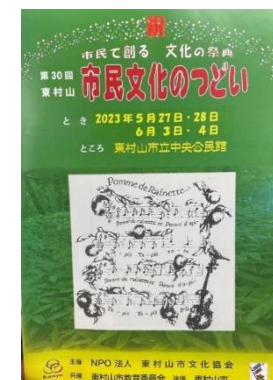
### 【美術部】第30回 東村山 「市民文化のつどい」 に出品

5月27日・28日、6月3日・4日に行われるNPO法人東村山市文化協会主催の「市民文化のつどい」の展示部門の合同展(東村山西高校・東村山高校)に、美術部の作品と授業で制作した作品を出品します。お時間ありましたら、どうぞ、ご覧ください。

場所: 東村山市立中央公民館 1階ギャラリー

日時: 5月27日(土)~28日(日)

10:00~17:00(最終日は16:30まで)



## 2学年 TGGへ校外学習 5月2日(火)



大型連休の谷間を利用して5月2日に2学年は、TGG(体験型英語学習施設)での校外学習を行いました。この施設は、英語を活用する「アトラクションエリア」と英語で学ぶ「アクティビティエリア」の二つに分かれており、生徒たちは希望したプログラムに分かれ、イングリッシュスピーカーのエージェントとコミュニケーションを取りながら、学校の教室とは異なる英語学習をしました。エアポート・ホテル・トラベルゾーンでは模擬海外体験をし、とても生き生きとした表情があらこちらで見られました。帰りがけ”Good bye!”と弾んだ英語が生徒から次々に飛び出てきたのがとても印象的でした。